VH PRO SOUND PU

TOSHIYA MATSUKAWA(BLIZARD)

JUNICHI YASHIMA(HOUND DOG)

ATSUSHI YOKOZEKI(BRONX)

TAKESHI NISHIYAMA(HOUND DOG)

JUNICHIRO MATSUKAWA(SABBRABELLS)

HIDEYUKI YONEKAWA(C.C.B)

CRAIG GOLDY[VH-4]
ADRIAN VANDENBERG[VH-2,4]
TOSHIYA MATSUKAWA[VH-1]
ATSUSHI YOKOZEKI[VH-1]
PETE COLINS[VH-1]
SATOSHI HIROSE[VH-4]
MIKAEL MYLLYNEN[VH-2]
YASUYUKI SAITO[VH-2]
ANDERS KALSON[VH-4]
MICHIYA HARUHATA[VH-4]
HIROYUKI SANO[VH-4]
TAKAYUKI MURAKAMI[VH-2]
TAKESHI NISHIYAMA[VH-2]
TOMOKAZU MIYASAKA[VH-2]
KEN HAMMER[VH-2]

NOBUHIKO SATO[VH-6]
TETSURO ODA[VH-2]
TAIKI KATANO[VH-2]
TATSUYUKI OOHARA[VH-2]
JUNICHI YASHIMA[VH-2]
HIDEYUKI YONEKAWA[VH-3,6]
REIKO HAZUMI[VH-2]

VH PRO SOUND

ピックアップにおいて良いサウンドとは。
①各弦のバランスが正確に再現されること
②トーン・ニュアンスのポイントとピックアップの出力のバランス
③音程が正確に再現されること(倍音再生の良さ)
ギターの音程を決定するのは実音以上に倍音の音質や、もちろん音程やその音量によって大きく左右される。そのため、ギターP.U.において最も重要なポイントは、倍音再生の良さということに結びつくことになる。
④S/N比、フィードバック比(ノイズ、ハウリングも含む)
⑤アタック音とその残響(サスティーン)のバランス、音の厚さ。
これらのポイントが、良いサウンドをクリエイトするP.U.の条件といえる。VH ProSoundは音楽を創造するうえで不可欠の条件ファリティーを持った、個性豊かなP.U.システムだ。

VH-1
HISTORY ¥12,000

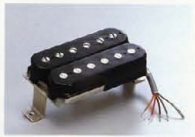
ひとことでいってしまえば、本当の"オールデイ・ハムバッカーサウンド"P.U.だ。いまどのP.U.に無い本物のあたたかみが持ち味だ。(ハイアウPP.U.でいうHOT.だいうそれにはふった(違う)VH-1は'50年代後半のオールド・P.A.F.のサウンドをそのまま再現できるよう設計されている。コイル・ターン数、マグネット形状など、どれをとっても同様のデザインになっており、しかもオールドP.U.にありがちなノイズも完璧なシールディングのためにノイズレスになっている。それでも特殊パラフィン加工でのハウリング対策もいまだには無い大きな評価が得られるはずだ。つまり"最良の状態で生き残ったオールドP.U."といえるだろう。ブライトかつクリアで、そのような音楽にもフィットするサウンド。そして音の立ち上がりもスムーズで、程良いあたたかみが加えられている。またVH-1はフロント・ポジションにおいても十分な説得力があり、ブリッジ・ポジションにVH-2やVH-4を使用するのにも最適なデザインだ。

VH-2
BECK STORY ¥12,000

VH-2 P.U.は、いままでキミが体験したことのない"ハーモニック・オーバートーン・サウンド"でエキサイター効果"が体験できるだろう。基本的にVH-1のカスタマイジング・モデルで、程良いパワーと倍音再生の良さは、これまでの国内外のP.U.では類を見ないはずだ。従来のP.U.にはない音の伸びと厚い中・低音が得られるようデザインされていて、エフェクト処理で音をあませたり、ディレイ処理を用いても"音がやせる"ということはない。(つまり、ギターの基本的なサウンドが良ければそのようなことは、ない。ということだ。)また、十分に浸透するように特殊パラフィン加工がなされており、バランス面、サスティーン面、音の厚み、どれをとっても最高のP.U.といっても良いだろう。なおこのVH-2 P.U.は、4本のワイヤーにより2シリーズ、スプリット、パラレル、フェイズなどの配線が可能になっており、多彩なサウンドが、このひとつのP.U.で得られるようになっている。

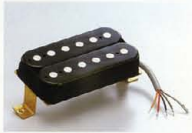
VH-3
¥8,000

基本的にはVH-1と同様のボビン、マグネットを装備した、コストパフォーマンスに優れたP.U.だ。低価格ながらも、渡の強さがあるツブのそろったオールドP.A.F.特有の枯れたサウンドを見事に再現している。また、4本のコンダクター・ワイヤーにより、各種の配線が可能で、フロント・ポジション、ブリッジ・ポジションにおいても多彩なサウンドを最高の状態で発揮する。



VH-4
DIRTY LADY ¥12,000

VH-4 P.U.は、44マグナムのJimmyのためにフェルナンデスが開発したP.U.だ。インナーされたマグネットは、基本的にセラミック・マグネットだが、特殊設計されたマグネットを使用しているため、他のセラミックP.U.のように音が薄っぺらになるようなことはまったくなく、非常に広いダイナミック・レンジを持っている。サウンドをひとことでいえば、ブライトで太いサウンドだ。だから、VH-4の持つ衝撃的なトーン・ニュアンスは、メタルやロック・ロールをプレイするギタリスト、特にリード・プレイヤーを必ず魅了するだろう。このVH-4は特殊パラフィン加工がなされ、さらに完璧なシールディングにより2hum-ノイズで、ハウリングのない美しいサウンドを、どのような状況のもとでも再現してくれるはずだ。



VH-5
BROWN SUGAR ¥8,000

VH-5 P.U.は、リード・ワークにおいて強烈なサウンドを生み出してくれる、ハムバッキングのフルトーン・サウンドを持ち、なおかつシングルコイルP.U.のようなブライトでクリーンなサウンドも同時に持ちあわせ'59年ハムバッキングやVH-1 P.U.にさらにサウンドの肉付けをしたP.U.だ。ひかえめなパワーながら腰があって厚みのあるパンチの効いたサウンドで非常に繊細なコイルワイヤーを同じテンション・バランスでていねいに巻き上げ、フラットのボールピースが弦のピブラート、そして各弦のトーン、サスティーンを最大限度まで得られるよう工夫されている。VH-5はロックからハ・クロスオーバー、さらにはジャズ・サウンドまで多彩なトーンを生み出し、いままで誰もが望みながら出し得なかったサウンドが得られる。VH-5はプライトでブリッジ用に最適なP.U.だ。

VH-6
VHR ¥13,000

VH-6 P.U.は、あのオールドP.A.F.のテクノロジーをベースにリファインされたハムバッキングP.U.だ。コイルワイヤーの変更、ターン数を増し、さらにマグネットのパワーを高ますことによって倍音のバランスをパーフェクトにしている。さらにこのP.U.の持つ12個のブラック・ボールピースによって、通常のタイプの様な片側6個のボールピースでは不可能な各弦の微妙なバランス、トーン・ニュアンスまでも表現が可能だ。このVH-6は、VH-2よりも若干パワーがあり、さらにブライトで、音の立ち上がりがスムーズな芯のあるサウンドを生み出す。特にブリッジ・ポジションで最大の性能を発揮できるように設計されている。

VH-S
¥9,000

VH-S P.U.は、シングルコイル・サイズのスタックタイプ・ハムバッキングP.U.だ。サウンドはブライトかつタイトで、新開発のアルニコ-III・マグネットの採用により、従来のスタックタイプのような中・低域が不要に強調されてしまうこともなく、パンチのきいた綿のあるサウンドが得られるようになった。ハムバッキング構造なので、もしハードなディストーションをかけたとしても、シングルコイルP.U.のように"ノイズの塊"になる心配もなく、特殊パラフィン加工によるハウリングへの対策も完璧だ。オールド・シングルP.U.のようなハイ・エンドとロウ・エンドがあり、パワフルなVH-Sは、他のVH・ハムバッカーとの組合せにより、無限の音創りが可能だ。また、ポビンの材質も他のVH同様に、ABS樹脂で形成されているので、ルックス面も更和感をよった感じさせるP.U.だ。